

高崎市スポーツ少年団 剣道交流大会



小五女子決勝飯塚(左)岡田(右)

十一月二三日、高崎武道館で第二五回高崎市スポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。

- 小4・小5女子新高尾井上飯塚優勝
- 小4男子 剣道教室高橋(伸)優勝
- 小5男子 中島道場永田 連続優勝
- 小6男子 高警少年川山 優勝
- 中2男子 金井道場高橋(修)優勝



小四男子優勝：高橋(伸)



小六男子優勝：川山

ポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。高崎市内の各道場から総勢百九〇余名の少年少女剣士達が参加いたしました。

この日は、藤岡市で西毛地区剣道大会が開かれたため、審判の先生方など少し運営陣も手薄の大会でしたが、小学生や中学生が一部西毛地区大会へ出場した分、上位戦に普段と一味違う味がかもしたされた大会でした。本多支部顧問の挨拶の後、三試合場で試合が開



中二男子優勝：金井小技で決める

始されました。何時でもそうですが観戦する親御さんたちの熱気には本当に感心します。ひたすら我が子の勝利を期待して



かける応援声。負けてしまった時は良かった所をほめてあげて一緒に悔しがる。親はいいよね。親にとってみんなはそれぞれ永遠に主役なんだよ。

さて、熱戦の結果はどうであったろうか。小五、小四女子では新高尾クラブの飯塚さん井上さんがそれぞれ頑張りました。小一男子ではどうとう勝負がつかずジャンケン勝負になってしまった試合もありましたが、中島道場勢が上位独占です。小四・小六男子はそれぞれ久々に剣道教室の



きまりません。ジャンケンめん。

いつも応援ありがとう。

第25回高崎市スポーツ少年団剣道交流大会結果

- | | | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|
| 小1女 | ①山田美香(中島) | ②西岡(高剣教) | | |
| 小3女 | ①下谷南彩美(中島) | ②原沢(中島) | ③関(高警少) | |
| 小4女 | ①井上紗綾(新高尾) | ②西澤(中央) | ③佐野(金井) | ③志水(金井) |
| 小5女 | ①飯塚裕(新高尾) | ②岡田(須田) | ③永井(高警少) | ③発地(高警少) |
| 小6女 | ①風間祐里佳(中島) | ②横澤央(新高尾) | ③須藤(高警少) | ③関口(高警少) |
| 小1男 | ①寺本欣将(中島) | ②庭屋(中島) | ③豊泉(中島) | ③天田(須田) |
| 小2男 | ①松浦理人(中島) | ②久保(中島) | ③岡本(高剣教) | ③代(高剣教) |
| 小3男 | ①斎川智弘(中島) | ②横澤京(新高尾) | ③井上(新高尾) | ③高橋洋(新高尾) |
| 小4男 | ①高橋伸夫(高剣教) | ②青木(新高尾) | ③新井(金井) | ③鈴木(金井) |
| 小5男 | ①永田真隆(中島) | ②竹内(中島) | ③小泉(中島) | ③須賀(須田) |
| 小6男 | ①川山宗祐(高警少) | ②山崎(金井) | ③長谷川(須田) | ③深澤(中央) |
| 中1女 | ①庭屋葉月(中島) | ②高橋麻(新高尾) | ③直井(高剣教) | ③俣田(高警少) |
| 中2女 | ①安藤雅章(中島) | ②羽鳥(慶雲館) | ③木暮(高剣教) | ③鮎川(高剣教) |
| 中1男 | ①得居勇斗(中島) | ②城田(中島) | ③植原健(高警少) | ③植原悠(高警少) |
| 中2男 | ①高橋修平(金井) | ②田島(高剣教) | ③湯浅(高剣教) | ③清水(高剣教) |

好敵手同士
中島道場 松浦(左)
久保(右) 決勝戦



高橋君そして高崎警察少年剣道教室の川山君が頑張りました。小五男子はカップピアに続く連勝の中島道場永田君が頑張りました。中一・二女子・中一男子これも中島道場勢が地力を発揮しました。中二男子は金井道場の高橋君が頑張りました。他のみなさんも頑張りまし

私にとっての剣道

中尾中学校三年
磯田 智子(剣道二段)



私は剣道を始めてから「努力は嘘をつかない」と思うようになりました。

初めてそれを思ったのは中学三年の春季大会の時、部活のみんなでの努力が実り、優勝できた時、今まで努力してきて良かった、努力してき

たかいがあった、と心から思いとても嬉しかったのを覚えています。

そして今回「せっかくここまで努力してきたのだから」と思い、二段を受けることに挑戦しようと思いました。夏休みも暑い中、竹刀を握って二段合格を目指していると「絶対に受かるう」と心から思いました。しかし、二段がそう簡単に受かるものではないことはよくわかっておりました。だからといって諦めるのは嫌でした。そんな時にいつも「努力は嘘をつかないんだ。」と思うことで頑張ることができました。

秋になって二段審査本番の日、私はいつになくかなり緊張しました。「いままでの努力が実って欲しい」そのことしか思い出せませんでした。

本番ではひとつひとつの動きに緊張し「いつもどおりで」と思っても、思いどおりにはいかず合格発表の結果がすごく心配でした。そして合格発表の時に自分が合格したことに目を疑ってしまいましたが、今回も自分の努力が嘘をつくことはなく、私は自分の努力が実ったことが心から嬉しかったです。

私はその喜びをバネに高校へ行っても剣道を続け、次の段にも挑戦していきたいと思います。

そして、今お世話になっている道場の先生方のように小学生などの子供たちに剣道を教えることができればいいなと思います。

初・二段を取得された皆さんに剣道への想いを語っていただきました。

いると一瞬のうちに一本をとられてしまうこともあるし、試合前から「負けてしまう」と弱気になってしまうと勝てたかもしれない相手にも負けてしまう。剣道では技術だけではなく精神力の強さも大事なことになるんだと思う。そして剣道で学んできた礼儀の大切さはこれから高校大学、社会へ出て通用することなので、剣道をやってきて良かったと思う。



初段をとったということは、まだ初歩の初歩にすぎないかもしれない。だからこれから剣道を続けてもっと強く、たくましい人間になっていきたい。

初段をとって
寺尾中学校二年 木暮 光恵(剣道初段)

自分にとって剣道とは

高松中学校三年 徳島 真純(剣道二段)



私が剣道を始めたのは小学五年生のときでした。始める前の私は、剣道について(「チャンバラ」の延長みたいなものだろう)という軽い考えしか持ち合わせていませんでした。そして道場に通っているうちに、自分の考えの愚かさを知ったのです。まず驚いたのは「剣道」が礼儀をとっても大切にしているということです。稽古は「礼に始まり、礼に終わる」と言い、厳しく教えられました。それは「礼」とは相手に感謝する気持ちを形にしたものなので、尊敬と感謝の気持ちを含めて行わなければならないのです。私は剣道が他のどのスポーツよりも礼儀を大切にしていると思うので思っています。

また剣道はとても基本に厳しいです。私が道場に入ってから面をつけるまでに一年かかりました。その一年間は足さばきや素振りばかりで、自分も早く面をつけて稽古をしたいと毎日のように思っていました。しかしいざ面をつけるとかなり動きにくく、満足な動作ができませんでした。もし基本を忠実にしていなかったらと思うとゾッとします。剣道の基本の大切さを実感しました。このように剣道には私たちに人生におけるとても重要な「大切さ」をいろいろと教えてくれています。剣道があったからこそ、今の自分があるのです。

初段にちって 塚沢中学校二年 杉本 智(剣道初段)



今年で剣道を習い始めて五年目になります。私が剣道を始めたきっかけは、友達が剣道を習っているのを聞いて道場へ見学に行き、剣道のかっこよさに引かれたからです。毎週水曜日と土曜日の稽古が楽しみで一生懸命練習してかっこよくなる、そして強く諦めない剣道をやりたいと思い続けています。

今年、塚沢中学校二年生九名は、初段試験に向けて練習や勉強を熱心にして、互いに高めあっていきました。試験直前は、もう心臓がバクバクしていて、体がコチコチになってしまい、「形」の試験中に失敗してしまい「もうだめだ。」とあきらめてしまいそうでした。しかし、相手の人に迷惑をかけてはいけないという思いがあり、あきらめずに最後まで頑張りました。そして、全員一緒に初段に合格することができました。本当にうれしかったです。

ぼくが、五年間剣道をやりとおせたのは、大会で相手をたおしたときの喜びを知ったことや、先生方を見ての大人の剣道のかっこよさ、いつかそんな剣道ができるようになるとうワクワクした思いがあったからです。五年前剣道に興味を持って良かったと思います。剣道をしていなかったら良い所を知らずに過ごすことになるころでした。

今は大好きな剣道をみんなで高めあえるように毎日努力しています。そしてこれからの目標は、どんな時にもあきらめずまっすぐとした剣道ができるようにがんばってやろうと思いました。

シルバースポーツ 剣道大会 福地 信さん (武道館) ブロンク優勝

十一月十四日、群馬県総合スポーツセンターでシルバースポーツフェスティバル剣道大会が開催されました。この大会は群馬県長寿社会づくり財団の主催の大会です。県下の健康な大先輩方の参上です。総勢二五名余の渋い剣老たちの参加です。試合は八組にブロンク分けされ、各ブロンク三名ないし四名の選手が総当たり戦で戦われました。福地さんは第六組に出



福地さん：武道館での稽古：わかいものにやまだまだ

第 6 組

	1野 澤 (藤市)	2金 井 (渋県)	3福 地 (高市)	4岩 井 (甘藷)	勝点	勝本	順位
1野 澤 (藤市)	○	○	○	○	2	3	2
2金 井 (渋県)	○	○	○	○	0	0	4
3福 地 (高市)	○	○	○	○	2	4	1
4岩 井 (甘藷)	○	○	○	○	2	2	3

場しました。第六組は激戦で勝ち点では勝負がつかず、結局勝本数での順位決定となりました。福地さんはこの日は巻き落とし技が冴え、加えて積極的な攻めの剣道が功を奏し、総合で勝本数四本を取得失見事ブロンク優勝を成し遂げました。剣道は生涯スポーツのさえたるものです。いくつになっても若い人と竹刀を交えることができずし、そんな中に老若の交流も榮えます。四十、五十はまだまだはなつたれですよね。先輩。幾つになつても福地さんのように飄々と剣道をしてい



橋本支部長挨拶

十二月九日、高崎ジョイ平安で平成十五年群馬県剣道連盟高崎支部の忘年会が開催され、中島県剣道連盟会長をはじめ五十名余の支部の皆さんが出席いたしました。橋本支部長は「本当に

平成十五年 支部忘年会

きたいものです。平成十六年度は十月に第十七回全国健康福祉祭群馬大会”ねりんピックぐんま”が開催されます。そりやもう全国の腕におぼえありの剣老たちが参集します。本県の大先輩方にもがんばって欲しいと思います。



六段の抱負：堀越、吉野、群馬お三方

この年に六段を取得された方々の内、出席され

部の事業も順調に運営され感謝いたします」と挨拶されました。乾杯の発声は飯塚副支部長の音頭です。乾杯のあとはもうすいこみ一途で面技のみ、剣道談義に花咲くことこれありそうろう。



乾杯：飯塚副支部長

多くの支部のみなさんに手伝っていただいた。支

支部の核となつて活躍されている藤本事務局長はこの日も司会進行の御苦労。開会冒頭に差し出した返信葉書が戻つてこないと皆さんを叱咤致しました。葉書には郵便貯金利子はつきません、と。みなさん、支部の通信についてのはきちつと速やかに往信いたしました。



苦勞の耐えない藤本局長

た堀越、群馬、吉野さんの御三名方も紹介され、それぞれの皆さんに今後の抱負を語っていただきました。四月に役員改選の後、もろもろの主催事業の運営、それぞれの情報交換を密度高く行わないと任意で構成される組織というものは円滑に活動できないものです。こうした場所です。お互いを知り合つて支部の事業を盛り立てて欲しいと考えます。

編集後記
一年は過ぎ去つてしまえばあつという事です。今年もあと三日です。外回りの掃除を早くやつてよ。連れ合いの叱咤のことばを柳のごとく聞き流し、いま”たそがれ剣舞”仕上げております。あと残り十八行何を書くの？。こんな感じで五号まで辿り着きました。皆さんの活動をこうして紙面に落として見ますとまさにポリウムたっぷりです。それだけ活動しているということでしょう。すべてボランティアみたいなのです。こうしたごく一般の人たちの活動があるから、文化が後世に引き継がれていくのかなあ、と思います。剣道なんてと思つてもやはりそれは日本文化そのもの、とくに大好きな武士(もの)の置き土産です。どんな便利な世の中になつてもその心は子孫に引き継いで行きたいものです。この”たそがれ剣舞”つまらない徒然ですが、来年も頑張つて皆さんの活動を記録し続けますのでよろしくお願ひいたします。

広報担当 上條